

☆中国

製品開発

齊魯アクリル、人造毛皮に参入へ

このほど、大手アクリルメーカー齊魯アクリルは、差別化品の開発の一環として人造毛皮（フェークファー）分野の開発を進めていることを明らかにした。同社は既に市場動向や販売情報を調査し、アクリル製の人造毛皮サンプル製品の分析を行っており、2012年上半期に自社の紡糸テスト装置で試験をする計画である。その後、同社の乾式アクリル法の特性を活かし、技術改良によって、製品開発を進めるという。

中国では、中～高級人造毛皮業界で、アクリルは主要な原料の一つであるが、中国市場では基本的に輸入に依存しているという。

☆インド

合繊原料

JBF Petrochemicals、PTA工場建設へ

英国化学大手BPおよびJBF Petrochemicals（JBF Industry Ltd.の100%子会社）はBPの最新世代のPTA技術のライセンス契約の供与に合意した。JBFはPTA工場（年産125万ト）をインドKarnataka州Mangaloreにある経済特別区に建設する。操業開始は2014年末の見込み。JBFは、もともと、オマーンにPTA工場の建設を計画していたが、遅延が予想されたため変更された。

☆オーストリア

経営

LenzingとSappi、パルプ供給で合意

セルロース繊維大手のLenzing AGは、ケミカルセルロースメーカーのSappi Limited（南アフリカ）と、複数年のパルプ供給に関する供給契約を締結することで合意した。

今回の合意は、Sappi Limitedが、新たにレーヨン繊維原料の溶解パルプ工場を新設することに伴うもの。Sappi Limitedは世界最大の溶解パルプメーカーで設備能力は年産80万トであるが今後130万トに増設する予定である。

以上